

Akashi College		Year	2023		Course Title	Introduction to Active Learning	
Course Information							
Course Code		5117		Course Category		General / Compulsory	
Class Format		Seminar		Credits		School Credit: 1	
Department		Electrical and Computer Engineering		Student Grade		1st	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		授業内で適宜資料を配布する。					
Instructor		TAKEDA Naho,HIRANO Masatsugu,MIZUNO Yuki					
Course Objectives							
自らの興味・関心を把握し、さらに他者と共有する。自ら調べ、共に考え行動し、ふりかえる能動的な学びを体験し、基盤となるマインド、知識や技能を取得していく。 互いに学びあう関係性づくりの考え方を知り、個人の興味関心とともにチームでの問題解決に取り組み、最適解を目指す学びを体験する。 以上の科目の目的をふまえ、以下の3点を到達目標とする。 1) 他者とコミュニケーションを取ろうとすることができる。 2) 他者の話を聴こうとすることができる。 3) 自分自身を振り返ろうとすることができる。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		他者とコミュニケーションを取ることができる。		他者とコミュニケーションを取ることができる。		他者とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2		他者の話を聴くことができる。		他者の話を聴こうとすることができる。		他者の話を聴こうとすることができない。	
評価項目3		自分自身を振り返ることができる。		自分自身を振り返ることができる。		自分自身を振り返ることができない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		高等教育機関である高専では「自ら課題を設定し、それにふさわしい解を見つけ出す」ことが求められます。この授業では、自他を知り、学びあう関係性をあたため、チームでの問題解決に取り組み、「答え」をつくるという一連の流れにより、高専での学びにおける基礎的な力を身につけることを目的としています。					
Style		個人ワークやグループワークを通じて、さまざまな探求の方法を学びます。成績評価は、講義内でのグループワーク、個人ワークの成果物で判断します。また、評価ポイントとしては、それぞれの成果物の中で、相手に伝わる表現力、自分の出した答えまでの筋道を整理する論理的思考力、相手のフィードバックを受け取ってから自分の考えを内省する内省力などを評価します。 授業計画に示す4名の担当教員が、分担して講義を担当します。 連絡員：武田 字浦					
Notice		合格の対象としない欠席条件(割合)：1/4以上の欠課。 学生同士の議論等を中心に参加型学習の手法によって展開します。自らの考えを声に出し、他者の声に丁寧に耳を傾けることで学びが豊かになるため、学びの場を共につくる過程に積極的に参与してください。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☒ Active Learning		☒ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☒ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション（全員）		授業の概要と目的を理解する。		
		2nd	自己紹介＆お互いを知ろう（武田、荒木）		共に授業を受ける仲間について知る。		
		3rd	科学的な文章表現（武田）		根拠となる論文を適切に引用して、序論・本論・結論からなる文章を作成して自身の主張を示すことができる。		
		4th	問題定義の基礎（武田）		現状と目標の明文化により問題を定義した上で、発想法を用いて問題の解決策を提案することができる。		
		5th	問題定義の応用（荒木）		問題定義の技術や発想法を活用し、他者へのヒアリング内容をもとに問題の定義や解決策について検討する。		
		6th	コミュニケーション①（荒木）		対話的なコミュニケーションに必要な傾聴と質問の技術について理解し、実践する。		
		7th	コミュニケーション②（安藤）		さまざまな問題・課題を論じるために必要なディスカッションの手法について理解し、実践する。		
		8th	チームワーク①（平野）		仲間との学び合いを実践する。		
	2nd Quarter	9th	チームワーク②（平野）		チームでの問題解決を実践する。		
		10th	答えのない問い 社会編①（荒木）		複雑性や不確実性の高い社会の中で対象を分析するための様々な手法を理解する。		
		11th	答えのない問い 社会編②（荒木）		複雑性や不確実性の高い社会の中で価値を創造するための考え方を理解する。		
		12th	答えのない問い 科学編①（安藤）		科学技術と社会の関係を踏まえて、専門分野間の共通点・相違点を知り、異分野協働の重要性を理解する。		
		13th	答えのない問い 科学編②（安藤）		科学技術と社会の関係を踏まえて、立てた問いや導いた答えを伝えるための手法を理解する。		
		14th	まとめ①（武田）		この授業での学びについて振り返り、これからの学び方について他者に話すことができる。		

		15th	まとめ②（武田）	この授業での学びについて振り返り、これからの学び方について他者に提案することができる。	
		16th			
Evaluation Method and Weight (%)					
		レポート	発表・フィードバック	授業中課題	Total
Subtotal		40	20	40	100
基礎的能力		20	10	20	50
分野横断的能力		20	10	20	50